



## 一貫コース通信

### 福島成蹊中高にて思うこと

福島成蹊中学校高等学校での勤務を始めてから、早いもので四か月がたちました。日々の仕事に追われ、あっという間に過ぎてしまった気がします。そんな年月でも、私がわが校に勤務して感じたこと、思ったことなどを書きつらねて、一貫コース通信の内容に替えていきたいと思えます。

わが校に勤務をして私が強く感じるのは、生徒の学力を伸ばし、生徒の進路を実現するために、先生方が大変な苦勞をしていらっしゃることです。自らの希望進路実現のため日夜勉学にはげむ生徒に、先生方が今までの経験やノウハウ、知識などを生かし、これほどの情熱と苦勞で成績を伸ばそうと頑張り続ける先生方が集う学校は初めてです。

次に思うのは、毎日の授業に取り組もうとする生徒のみんなの態度が非常に真剣であることです。私は教科担任をしているクラスにたくさんの宿題を出し、その小テストをよくしていますが、生徒はみんな自分の学力を向上させたいという意思を強く持ち、一生懸命勉強してくる生徒ばかりであることに驚いています。

私は小テストの追試もよくしています。生徒のみんなから嫌がられることだということとは覚悟のことですが、生徒のみんなは私のこのような指示にもよく従い、追試の答案が本試の答案より出来の良いいものがほとんどであり、向学心の強い子たちだなあと感心しています。

そして、わが校の現実の中で最も驚いているのは、少数精鋭で優秀、難関大学への現役合格を現実的に期待できる生徒が多いということです。これは前述した、先生方の頑張りや能力、生徒のみんなの学習意欲や心がけなど、様々な要因があると思いますが、これだけの学力を現役の高校生の段階で身につけることができるのは、生徒のみんなが中学生時代から自分の希望進路を明確に決め、何年も勉学に励んできた苦勞の賜物であることは間違いありません。

生徒のみんながこれだけの好成績を残せるようになるのに今までどのぐらいの苦勞を積み重ねてきたか、その苦勞は相当なものだったでしょう。しかし今まで積み重ねてきた苦勞は必ずや実を結び、みんながこの学校を卒業するときの希望進路の実現という素晴らしい結果が待っていることを祈っています。自分の志望校に合格したいという意志を強く持ち続け、毎日一生懸命勉強に励んでください。

最後に、私自身が高校生だったときに、私の恩師がくれた言葉をここに記して筆をおくことにします。

「大学への進学は、志望大学を決めた時期が早いほど、志望大学に合格したい意志が強いほど、合格する可能性が高いことは疑いない。学びたいことが変わったのなら、君たちにはいくらでもやり直す時間があるのだから。要は意志固めである。」

